

## 東京メトロで3駅目の太陽光発電システム



## 東西線妙典駅に太陽光発電システム導入

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）では、環境にやさしい地下鉄を目指し、「みんなでECO. 東京メトロ・エコプロジェクト」を展開しており、平成24年7月完成を目指し、東西線妙典駅に太陽光発電システムを導入いたします。

当社では、千代田線北綾瀬駅（発電能力20kW）、東西線南行徳駅（発電能力40kW）に続く3駅目の太陽光発電システム導入となります。

妙典駅は、2面4線のホームを有しているためホームの屋根の面積が大きく、太陽光パネル多く設置できることから280kWの発電能力を見込んでいます。晴天時の昼間は、発電した電力で駅のエスカレーター・エレベーター、照明等の付帯電力を太陽光発電でまかないます。また、発電量が多い場合は、隣接の駅に融通して利用することが可能です。

発電開始後の年間発電電力量は約257kWhを見込んでおります。これは、南砂町～西船橋間で消費される付帯用電力※1の約2.8%※2に相当し、CO2排出量換算で142tの削減につながります。

本年度は、東西線地上駅5駅（西葛西・葛西・浦安・行徳・原木中山）に太陽光発電システムを順次導入する予定であり、環境に配慮した自然エネルギーの活用を展開してまいります。

※1：付帯用電力とは、駅などの照明、バリアフリー施設、空調、信号、通信などの電気設備用電力

※2：削減量の2.8%は、平成23年度に南砂町～西船橋駅間で使用した付帯用電力量をベースに算出

## 妙典駅概要

所在地	千葉県市川市富浜1-2-10
開業年月日	平成12年1月22日
乗降人員数	45,346人(平成23年度1日平均)



「太陽光パネル」と「パネル」設置後の妙典駅イメージ(平成24年7月完成予定)